



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社
 コード番号 9304 URL <http://www.shibusawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 今井 惠一
 (氏名) 星 正俊

TEL 03-5646-7235

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	13,577	△1.2	649	△6.8	645	△7.6	380	49.4
25年3月期第1四半期	13,746	△1.5	696	△16.5	699	△12.5	254	△50.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,064百万円 (1,018.2%) 25年3月期第1四半期 95百万円 (△79.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.00	—
25年3月期第1四半期	3.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	87,744	35,014	39.0
25年3月期	87,277	34,227	38.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 34,242百万円 25年3月期 33,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	2.4	1,340	1.4	1,190	4.5	700	82.8	9.21
通期	54,300	1.7	2,520	△9.3	2,220	△10.4	1,300	17.5	17.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	76,088,737 株	25年3月期	76,088,737 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	56,908 株	25年3月期	55,679 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	76,032,142 株	25年3月期1Q	76,035,155 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策への期待感を背景に、円高の是正や株価の回復等、景気は緩やかな回復の動きが見られる一方で、海外経済の減速懸念により下押しされるリスクも存在しており、先行きの不透明な状況が続きました。

このような経済情勢にあつて、物流業界では国内輸送に一定の改善が見られたほか、輸出貨物の荷動きも海上輸送を中心に回復の兆しは見られたものの、在庫量が減少傾向にあり、航空貨物の取扱いが減少するなど本格的な回復には至っておらず、不動産賃貸業界では都市部における空室率が下げ止まりつつあるものの、賃料相場も小幅ながら低下傾向となり、厳しい事業環境が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは、当期を初年度とする4ヵ年の中期経営計画「Step Up 2016」を新たに策定し、事業戦略に沿った営業活動を積極的に展開いたしました。物流事業においては、消費財を中心とした物流一括受託業務や流通加工業務の拡販のほか、国内外の拠点における新規営業活動に努めてまいりました。また、不動産事業においては、既存施設の計画的な保守および改良工事を実施し、現有資産の付加価値向上に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は、物流事業で船内荷役の取扱量が回復した港湾運送業務や新規の流通加工業務が寄与した倉庫業務は堅調に推移したものの、航空貨物の取扱いが低調だったほか、不動産事業においてもテナントの合理化策の影響を受けたことにより、前年同期比1億6千9百万円(1.2%)減の135億7千7百万円となりました。営業利益は、作業費が増加したことにより、同4千7百万円(6.8%)減の6億4千9百万円となりました。経常利益は、固定資産除却損等の営業外費用の増加により、同5千3百万円(7.6%)減の6億4千5百万円となりました。また、四半期純利益については、前期にあった投資有価証券評価損がなくなったことから、同1億2千5百万円(49.4%)増の3億8千万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

① 物流事業

倉庫業務は、消費財関連の保管料が増加したほか、販促品の流通加工業務が好調に推移したことにより、営業収益は前年同期比1千9百万円(0.9%)増の23億4千3百万円となりました。

港湾運送業務は、輸出入荷捌貨物の取扱いは低調に推移しましたが、在来船貨物の船内荷役の取扱いが伸長したため、営業収益は前年同期比5千1百万円(3.7%)増の14億2千7百万円となりました。

陸上運送業務は、日用品や飲料の輸配送は増加したものの、引越業務の取扱いが減少したことにより、営業収益は前年同期並みの69億8千8百万円となりました。

国際輸送業務は、海上の輸入貨物の荷動きは堅調だったものの、航空・海上ともに輸出貨物の取扱いが減少し、営業収益は前年同期比9千3百万円(9.3%)減の9億1千万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期比2千2百万円(0.2%)減の120億3千6百万円となりました。営業費用は作業費および横浜・茨木地区の再開発に伴う借庫費が増加したことなどにより、前年同期比1千9百万円(0.2%)増の117億1千9百万円となりました。以上により、営業利益は前年同期比4千1百万円(11.5%)減の3億1千6百万円となりました。

② 不動産事業

ビルメンテナンスに関する業務は伸長したものの、一部施設の稼働低下により不動産賃貸収入が減少し、営業収益は前年同期比1億4千9百万円(8.7%)減の15億7千万円となりました。営業費用は前期に取得した賃借物件の賃借料が減少し、同1億2千4百万円(12.9%)減の8億4千1百万円となりました。以上により、営業利益は同2千5百万円(3.4%)減の7億2千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、固定資産の減価償却による減少があつたものの、投資有価証券の時価評価による増加等により、前連結会計年度末に比べ4億6千7百万円増加し、877億4千4百万円となりました。

負債については、借入金の約定返済が進んだこと等により、前連結会計年度末に比べ3億2千万円減少し、527億3千万円となりました。

また、純資産については、配当金の支払があつたものの、四半期純利益の計上およびその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ7億8千7百万円増加し、350億1千4百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.6ポイント増加し、39.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加がありましたが、投資活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フローの減少により、全体で10億4百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、57億9千3百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により1千8百万円の増加（前年同四半期比5億6百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等があったため、3億3千1百万円の減少（前年同四半期比2億7千5百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の約定返済や配当金の支払いがあったため、7億5百万円の減少（前年同四半期比2億3千2百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期の連結業績は概ね期初予想に沿ったところで推移しておりますので、平成25年5月10日に公表した第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,348	5,471
受取手形及び取引先未収金	9,558	9,956
有価証券	3,005	2,005
その他	2,337	2,688
貸倒引当金	△15	△13
流動資産合計	20,235	20,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,184	30,873
土地	22,566	22,566
その他(純額)	1,386	1,414
有形固定資産合計	55,138	54,855
無形固定資産		
投資その他の資産	802	785
投資有価証券	9,450	10,261
その他	1,720	1,746
貸倒引当金	△70	△60
投資その他の資産合計	11,099	11,947
固定資産合計	67,040	67,588
繰延資産	2	47
資産合計	87,277	87,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,239	4,289
1年内償還予定の社債	7,000	—
短期借入金	5,966	6,034
未払法人税等	192	262
引当金	553	270
その他	2,305	2,376
流動負債合計	20,257	13,233
固定負債		
社債	—	7,000
長期借入金	24,913	24,478
長期預り金	5,080	4,944
退職給付引当金	2,169	2,216
その他	628	856
固定負債合計	32,792	39,496
負債合計	53,050	52,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,663	5,663
利益剰余金	18,587	18,701
自己株式	△20	△20
株主資本合計	32,077	32,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,973	2,503
為替換算調整勘定	△563	△452
その他の包括利益累計額合計	1,409	2,050
少数株主持分	739	772
純資産合計	34,227	35,014
負債純資産合計	87,277	87,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益		
倉庫保管料	1,229	1,234
倉庫荷役料	1,093	1,108
荷捌料	2,484	2,443
陸上運送料	6,998	6,987
物流施設賃貸料	212	214
不動産賃貸料	1,692	1,542
その他	35	45
営業収益合計	13,746	13,577
営業原価		
作業費	8,907	8,818
賃借料	571	533
人件費	785	786
減価償却費	588	580
その他	1,401	1,422
営業原価合計	12,254	12,141
営業総利益	1,491	1,435
販売費及び一般管理費	795	786
営業利益	696	649
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	114	126
その他	43	53
営業外収益合計	164	188
営業外費用		
支払利息	138	137
その他	23	53
営業外費用合計	161	191
経常利益	699	645
特別損失		
投資有価証券評価損	235	—
特別損失合計	235	—
税金等調整前四半期純利益	463	645
法人税等	196	256
少数株主損益調整前四半期純利益	266	389
少数株主利益	11	9
四半期純利益	254	380

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	266	389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△253	538
為替換算調整勘定	82	136
その他の包括利益合計	△171	674
四半期包括利益	95	1,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70	1,021
少数株主に係る四半期包括利益	24	42

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	463	645
減価償却費	623	607
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△11
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9	47
受取利息及び受取配当金	△120	△135
支払利息	138	137
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4
投資有価証券評価損益 (△は益)	235	0
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△2
固定資産除却損	1	8
売上債権の増減額 (△は増加)	△984	△392
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26	45
その他	△644	△710
小計	△342	235
利息及び配当金の受取額	119	137
利息の支払額	△207	△187
法人税等の支払額	△56	△166
営業活動によるキャッシュ・フロー	△487	18
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△674	△780
定期預金の払戻による収入	691	772
有形固定資産の取得による支出	△526	△266
有形固定資産の売却による収入	4	5
無形固定資産の取得による支出	△59	△17
投資有価証券の取得による支出	△5	△4
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	17
貸付けによる支出	△44	△44
貸付金の回収による収入	4	4
その他	2	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△607	△331
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	118	93
長期借入れによる収入	14	51
長期借入金の返済による支出	△793	△511
社債の発行による収入	—	6,947
社債の償還による支出	—	△7,000
配当金の支払額	△266	△266
少数株主への配当金の支払額	△1	△10
リース債務の返済による支出	△11	△9
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△938	△705
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,028	△1,004
現金及び現金同等物の期首残高	8,547	6,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,519	5,793

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	12,054	1,692	13,746	—	13,746
セグメント間の内部営業収益又は振替高	3	28	32	(32)	—
計	12,058	1,720	13,778	(32)	13,746
セグメント利益	357	754	1,112	(416)	696

(注1) セグメント利益の調整額△416百万円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	12,034	1,542	13,577	—	13,577
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1	28	30	(30)	—
計	12,036	1,570	13,607	(30)	13,577
セグメント利益	316	729	1,045	(396)	649

(注1) セグメント利益の調整額△396百万円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。